



第5回 ASP・SaaS・クラウドアワード2011

特定非営利活動法人
ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(ASPIC)
(名称変更申請中)

ASP・SaaS・クラウドアワード2011の趣旨

1. ASP・SaaS・クラウドの背景

現在、内閣府IT戦略本部はじめ総務省や経済産業省等においてもクラウドコンピューティングを中心としたICT戦略を推進しており、企業、公共団体、医療分野等に広く浸透し普及率も約20%近くに達しています。また、ASP・SaaS・クラウド事業者の80%が他社と連携して事業を推進しています。ASPICの推計によると、ASP・SaaS・クラウドの市場規模も、2015年には約3兆円に達すると見込まれ、今後ますますの進展が期待されています。

2. アワードの趣旨

日本国内で優秀かつ社会に有益なASP・SaaS・クラウド サービスを表彰し、事業者及びユーザーの事業拡大及び業務効率化等を支援します。これによってASP・SaaS・クラウドサービスの利用促進と市場創造による社会情報基盤の確立を目的としています。

3. 募集部門

第5回目を迎える今回は、「ASP・SaaS・部門」、「データセンター部門」に加え、新たにASP・SaaS・クラウドサービスを利用している企業に対する「ユーザ部門」を新設し、三部門での募集とします。

ASP・SaaS・クラウドアワード2011 { ①アプリケーション・PaaS部門
②データセンター部門
③ユーザ部門（新設）

※本年度から「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード」を「ASP・SaaS・クラウドアワード」へ名称変更いたしました。

アワード受賞企業のメリット

- **新聞等の報道により企業名・サービス名などがとりあげられます。**
 - ・アワードを受賞した企業・サービスは新聞等の媒体にとりあげられます。
 - また、第一次審査を通過した企業・サービスは ASPICホームページ等に掲載します。
- **ASPICセミナー等での発表**
 - ・アワードを受賞したサービスは、ASPICの主催するセミナー等で発表の機会が得られます。
- **受賞マークによる営業効果**

受賞企業は、賞状とトロフィーが授与され、各社オフィスなどで展示することにより、企業のイメージアップとともに、アワード受賞マークのHP・パンフレット等への使用により営業活動に大きく貢献します。
- **社内へのアピール効果**

アワードの受賞によりプロジェクトの社内認知度が上がり、経営層へのアピール度が高まるとともに社員のモチベーションの向上に役立ちます。

アワード実施スケジュール



【募集開始 2010年11月中旬】

申込書を提出してください。

【エントリーシート提出】

提出締切 2011年2月15日(火)

エントリーシートにサービス詳細を記入し提出してください。

書類審査

【第一次審査】 4月

書類審査通過サービスの公表

【第二次審査】 5~6月

プレゼンテーションによる審査

第1次通過サービス各社は、第2次審査までにプレゼンテーション資料を提出してください。

各賞の表彰・プレス発表

2011年6月

新聞等に受賞企業掲載予定

アワード 申込方法



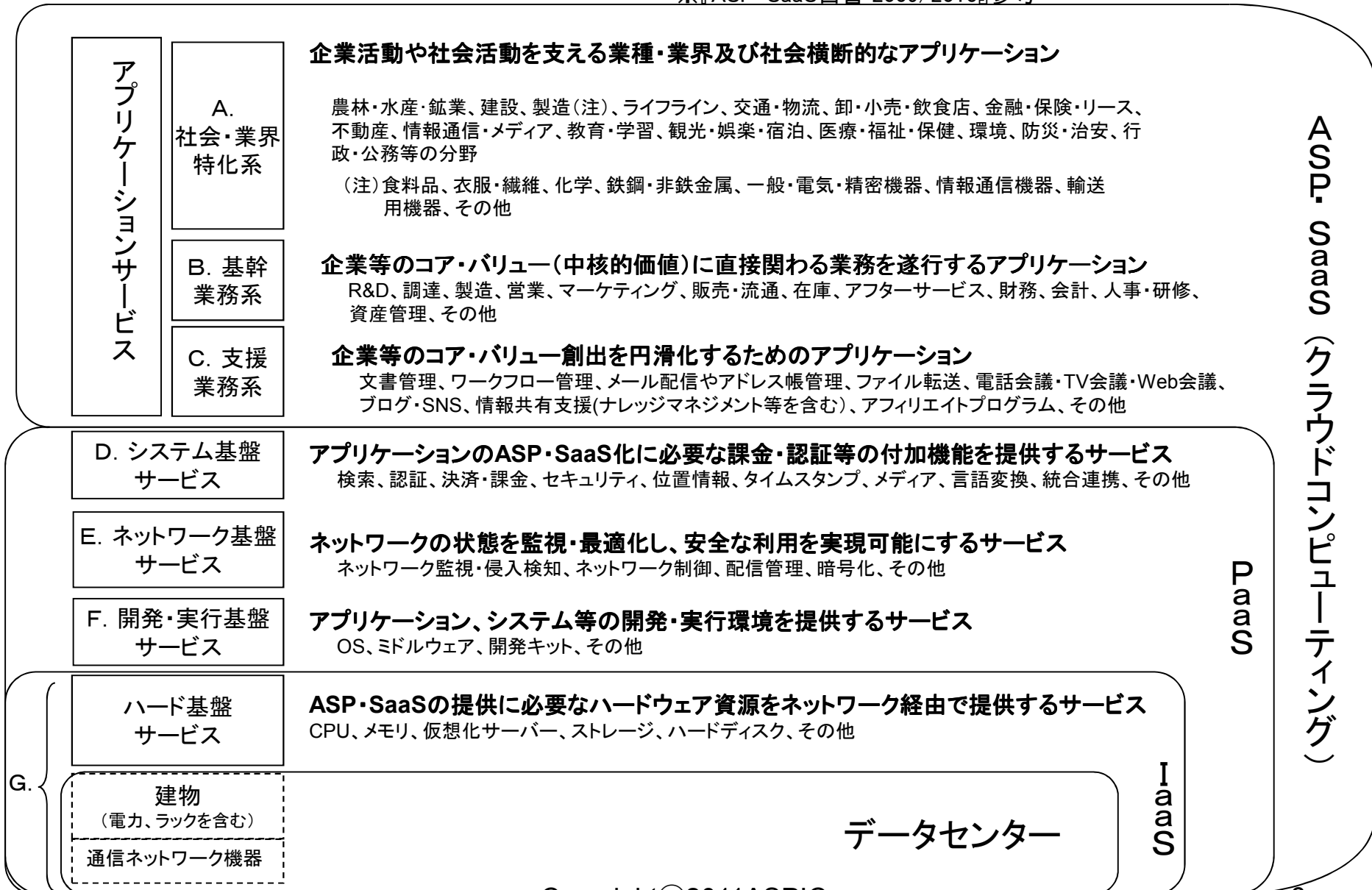
1. アワード申込 ..申込開始 2010年11月中旬
2. エントリーシート .. 2010年12月上旬 ASPIC・HPよりエントリーシートをダウンロード下さい。
2011年2月15日(火) 提出 締切
 - ・ASPICホームページより申込ください。
 - ・エントリーシートをご記入の上、メールにてお送り下さい。
3. エントリーシートが審査の対象となります。それぞれの項目に沿って詳細に記入してください。
4. エントリー部門について→分類表参照下さい。
 - (1) **ASP・SaaS部門**
 - (1)アプリケーション分野・・・A. 社会・業界特化系、 B. 基幹業務系、 C. 支援業務系
 - (2)PaaS分野・・・D. システム基盤、E. ネットワーク基盤、F. 開発・実行基盤
 - (2) **データセンター部門**
 - (1)日本国内に設置されているデータセンターを対象とします。
 - (2)自社以外の複数の企業に対してネットワークを経由してサービスを提供しているデータセンターを対象とします。
 - (3)データセンターのサービス提供範囲は以下のとおりです。(①、②ともエントリー上の区分はありません。)
 - ①建物(電力、ラック含む)及びハード基盤サービスを提供しているデータセンター
(サービス分類表のG区分) データセンター&IaaS
 - ②上記に加えてシステム基盤、ネットワーク基盤、開発・実行基盤の各サービスを提供しているデータセンター
(サービス分類表のD、E、F、G区分) データセンター&IaaS&PaaS
 - (3) **ユーザ部門**

日本国内においてASP・SaaSクラウドサービスを活用しているユーザ企業で部門・分野を問いません。

注. ASP・SaaS部門、データセンター部門、ユーザ部門、それぞれ1社複数サービスの応募が可能です。
過去のエントリー企業及び受賞された企業もご応募可能です。

(参考資料)ASP・SaaS・クラウド サービス分類表

※『ASP・SaaS白書 2009/2010』参考



アワード各賞 Application・PaaS 部門(予定)



1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点
2. 分野別グランプリ (1) Application分野グランプリ	① 社会・業界特化系分野において最も優れたサービス
	② 基幹業務系分野において最も優れたサービス
	③ 支援業務系分野において最も優れたサービス
(2) PaaS分野グランプリ	PaaS分野において最も優れたサービス
3. ベストイノベーション賞	該当するサービスが社会や企業のイノベーションに貢献した実績のあるサービス
4. 先進技術賞	先進的且つ高度な技術を用いた最も優れたサービス
5. ベスト連携賞	他のサービスと最もうまく連携を図ったサービス
6. 海外展開賞	ASP・SaaSサービスを海外へ展開し、成功を収めたサービス
7. ベスト環境貢献賞	CO ₂ 削減等環境に対して最も貢献したサービス
8. ニュービジネスモデル賞	新しい領域や事業分野へチャレンジしたサービス

注:重複の受賞はありません。

アワード各賞 データセンター部門(予定)



1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したデータセンター
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いデータセンター
3. ベスト環境貢献賞	CO ₂ 削減等最も環境に貢献しているデータセンター
4. ベスト連携賞	他のデータセンターとの連携が最もうまく図れたデータセンター
5. ベスト地域貢献賞	地域に対して最も貢献をしたデータセンター
6. ニュービジネスモデル賞	新しい領域や事業分野へチャレンジしたデータセンター

注:重複の受賞はありません。

アワード各賞 ユーザ部門(予定)

1. 総合グランプリ	全評価項目で最高得点を獲得した企業
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高い企業
3. ベストイノベーション賞	ASP・SaaSクラウドサービスを利用することにより、経営改革や経営の効率化に最も貢献した企業
4. ベスト環境貢献賞	ASP・SaaSクラウドサービスを利用することにより、CO ₂ 削減等環境に対して最も貢献をした企業
5. ニュービジネスモデル賞	ASP・SaaSクラウドを活用し新たなビジネスモデルを構築した企業や新たな事業領域へチャレンジした企業

注: 重複の受賞はありません。



表彰式

日時 2011年6月15日(水)
表彰式 15:00~17:30
記念パーティ 17:30~19:00

場所 大手町サンケイプラザ

過去のアワードグランプリ受賞企業・サービス



第1回 (2006) ・セールスフォース・ドットコム株式会社 「 sales force」

第2回 (2007/2008)

- ・ ASP・SaaS部門
プロパティデータバンク株式会社 「不動産管理ASP・SaaS「@プロパティ」」
- ・ IDC部門
富士通株式会社 「館林データセンター」

第3回 (2009) ・ ASP・SaaS部門

- コクヨS&T株式会社 「@とばす」
- ・ IDC部門
NTTスマートコネクト株式会社 「NTTスマートコネクトデータセンター」

第4回 (2010) ・ ASP・SaaS部門

- 株式会社ネオジャパン
「オンデマンド・アプリケーション・サービス「Applitus (アプリタス)」
- ・ IDC部門
株式会社NTTPCコミュニケーションズ 「門前仲町データセンター」

第1回 表彰式記念撮影



第1回表彰式 記念撮影 2007年2月9日
ASP・SaaS部門



第2回 表彰式記念撮影

第2回表彰式 記念撮影 2008年1月25日

ASP・SaaS部門



佐藤総務副大臣、中田政策統括官、秋本課長 にご臨席

IDC部門



佐藤総務副大臣、中田政策統括官、秋本課長 にご臨席

第3回 表彰式記念撮影



ASP・SaaS部門

第3回表彰式 記念撮影 2009年2月19日

IDC部門



中央
石崎総務副大臣
中島委員長・河合会長
戸塚政策統括官、秋本課長

中央
石崎総務副大臣
中島委員長・河合会長
戸塚政策統括官、安藤課長

第4回 表彰式記念撮影

ASP・SaaS部門

第4回表彰式 記念撮影 2010年2月19日

IDC部門



中央
原正之政策統括官
中島委員長・河合会長
武井大臣官房審議官、安藤課長

中央
原正之政策統括官
中島委員長・河合会長
武井大臣官房審議官、安藤課長